

地域おこし協力隊の鋸南ぐらし

Dappe

8
2021



光を探して。

こんにちは、協力隊の室井です。約2ヶ月ぶりの発行になってしまいませんでした。

毎日茹であがるような暑さです。そんな暑い夏でも、早朝の森の中は半袖だと肌寒いくらいです。軽井沢に行かなくても近所にある森で避暑ができると知りました。遠出にためらいを感じる頃、いま一度、住んでいる町に目を

向けてみませんか？もしかしたら、まだ全く知らない鋸南町の一面が見られるかもしれません。

コロナ禍で遠出ができないから写真が撮れないという声をたまに聞きますが、こんな時だからこそ、身近にある光をもう一度探して欲しいです。海の近くに住んでいる人なら、たまには山や畦道へ。いつも昼間に写真を撮る人は、日の出前や日没後に。生活圏からほんの少し足を伸ばしてみると、それまで気づかなかったことに気づけたりします。

写真は誰のため、何のために撮っているのだろうと考えることが何度もあります。誰かのために撮る写真もあります。同じくらい、自分のために撮る写真もあるんです。

暗いニュースが多い世の中ですが、美しいものは変わらず美しく、人の力ではどうしようも癒えないものをどうにかしてくれたりします。自分にとって写真を撮るということは、それに気づかせてくれる行為でした。わかりづらい話になってしまいましたがつまり「身近に素晴らしい景色があるので目を向けませんか？」という誘いでした。読んでいただきありがとうございます。

Dappe

発行元 鋸南町地域おこし協力隊
住所 AKARI (地域おこし協力隊拠点)
〒299-1902
千葉県安房郡鋸南町保田 66-1
執筆 清水多佳子 堀越美奈 室井翼

* 嶺岡林道に群生するヤブミョウガ。

夏真っ盛り！

堀越美奈

鋸南町は海も本当に綺麗だけど、田園の風景や野山の季節ごとに変わっていく花々が私にとっても気に入っています！勉強で色々な畑について作業しているのですが、ふと見渡すと小さなヒマワリが満開でした。色鮮やかな黄色は青空に良く映えて、とても好きな色です。



最近は雨が2週間近く降らなくて畑がカラカラになり、早すぎる台風が来てトマトが全部落っこちてしまったり…。やっぱり農家さんの大変な季節というのは、豪雪地帯以外だったら夏なんだなーと身をもって実感しているところです。熱中症寸前まで草刈りしていても、数週間で元通りの草ぼうぼうに戻っているのです。夏野菜の本来の旬に台風や猛暑が来てしまうようになってしまったら、時期をずらした栽培はどうなるのか？という考えが浮かび、エダマメとトウモロコシを8月にまいてみました。今のところは順調に育っているのですが、あとは9月の台風がひどくない事を祈るのみです。



「地域おこし」では、仲間を作り、一緒にやっていくことが大事

協力隊の清水です。私の任期は今月いっぱいとなりました。3年前の今ごろ、鋸南町に行くことにわくわくすると同時に「私、やっていけるのだろうか…」と不安な気持ちを抱えていたことを思い出します。

以前、この「Dabo(ダッペ)」で養蜂をやります！と宣言したところ、町内のたくさんの人から「頑張ってね！」というありがたいお言葉をいただきました。その流れで、友人と一緒に町内で畑を借り、蜂の箱を置いてみようという話になりました。また、せっかく畑を借りるのなら、野菜も一緒に作っちゃおうということになりました。

一緒に取り組める仲間を作ること……。まちづくりでの第一歩は、これだと思えます。「地域おこし」は一人ではできないのではない。信頼できる仲間を

作り、知恵を出し合いながら同じゴールを目指していく。困難にぶつかったときでも、一人ではくじけてしまっても、仲間がいれば解決し、実現できることがあるかもしれないのです。

ただ、私は、都会から田舎に来た人が、やりたいことをすべて実現できるわけではないとも思っています。地方には、都会にはない「ローカルルール」があります。そういった「ルール」を無視して、自分の考えを押し進めることはできない。私は東京から来て3年たって、やっと「地方で生きていくこと」を理解できたような気がします。

任期が終わっても町で活動していく予定です。この町で体験したことすべてが、私の人生の宝となっていくと思います。みなさま、3年間ありがとうございました。

清水多佳子

